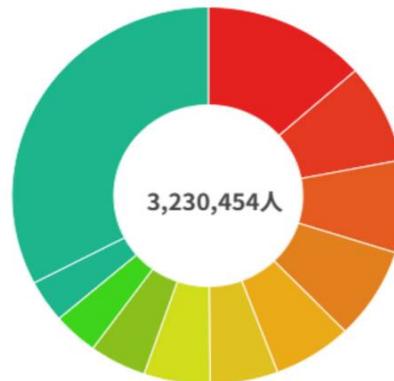


## ■データで見る観光客のリアル：私たちの商品・サービスを誰に届けるか？

島根県を訪れる「宿泊客のデータ」から、自社のターゲットを見直すヒントを探ります。掲載しているグラフは、島根県への宿泊者の「居住地別の割合（2024年）」です。

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合  
2024年 島根県



- 1位 東京都 435,097人 (13.47%)
- 2位 大阪府 274,615人 (8.50%)
- 3位 神奈川県 255,823人 (7.92%)
- 4位 広島県 253,986人 (7.86%)
- 5位 埼玉県 210,345人 (6.51%)
- 6位 兵庫県 180,645人 (5.59%)
- 7位 愛知県 176,231人 (5.46%)
- 8位 千葉県 151,581人 (4.69%)
- 9位 岡山県 120,387人 (3.73%)
- 10位 島根県 117,159人 (3.63%)
- その他 1,054,585人 (32.65%)

### 【出典】

観光予報プラットフォーム推進協議会「[観光予報プラットフォーム](#)」

### 【注記】

観光予報プラットフォームでは、日本全体の宿泊実績データのうち、1億9,000万泊以上（2025年5月現在）のサンプリングデータ（店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊者数の実績データを算出している。

各データ・情報の提供元は非公開としている。

観光予報プラットフォーム推進協議会でのデータ集計を反映し、過去のデータが遡及修正される場合がある。

宿泊者数が設定期間中に一定以下の市区町村については、「データ無し」としている。

データの算出方法において、宿泊実績データのサンプリングをもとに拡大推計をして算出していることから、属性別ごとの延べ宿泊者数（総数）の合計値が一致しない場合がある。

島根県への宿泊者の約3割は「関東圏」から、次いで「関西圏」「広島県」となっており、客足はコロナ禍を経て順調に回復しています。

人口減少が進む中、この「遠方からの観光客」へのアプローチは欠かせません。遠方客は事前にネットで情報収集をするため、GoogleマップやSNSの整備は必須です。また、持ち帰りやすい商品の開発や、都市部で普及しているキャッシュレス決済への対応など、観光客目線での受け入れ態勢を今から整えていきましょう。

出典：REASAS「観光マップ - 宿泊者分析 - 宿泊者構成割合」